

|      |           |     |            |
|------|-----------|-----|------------|
| 【既定】 | 地域運営学校等推進 | 予算額 | 45,145 千円  |
| 【既定】 | 学校の支援     | 予算額 | 241,855 千円 |
| 【既定】 | 地域教育力の向上  | 予算額 | 10,725 千円  |

部活動指導員に係る予算は「会計年度任用職員（短時間）」に計上

### 事業の目的・概要

保護者や地域住民等が学校運営に参画する地域運営学校（学校運営協議会）<sup>※1</sup>の充実を図り、誰もが教育の当事者として学び合い、教え合うことのできるまちを目指します。また、多様な大人が教育の担い手として子どもの学びを支え、子どもと関わりながら大人自身も学びを深めることができるよう地域教育連絡協議会<sup>※2</sup>や地域教育推進協議会<sup>※3</sup>の活動を支援します。

少子化の進展により、今後これまでと同様の体制で運営していくことが困難である部活動については、生徒にとって魅力ある持続可能な新たなスポーツ活動等の確保に向けて、国及び東京都が部活動に関するガイドラインに示した「学校部活動の地域クラブ活動への移行」を視野に入れた取組を実施するとともに、喫緊の課題である教員の負担軽減等を図るため、並行して、部活動指導員の配置等を行い、部活動支援の取組の充実を図ります。

※1 地域運営学校（学校運営協議会）…学校運営の基本方針の承認や運営に必要な支援について協議するために、保護者や地域住民等で構成された合議制の機関が学校運営協議会であり、この協議会を設置している学校のこと

※2 地域教育連絡協議会…子どもたちの「生きる力」を育む環境づくりを目指し、青少年委員が事務局となって中学校区単位で教育に関する懇談会や子どもたちを主体とした事業を行う組織

※3 地域教育推進協議会…地域教育連絡協議会の組織・活動の成果を発展的に継承し、地域の多様な主体が協力・連携しながら0歳から15歳までの子どもの育成や教育に関わる課題の解決に向けて自主的に取り組む活動を行う組織

### 主な取組内容

#### ➤ 地域運営学校の充実

全ての区立学校が地域運営学校となり、学習指導要領で目指す、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有」し、多様な区民との連携・協働が実現できるように、各学校運営協議会の実態に応じた支援や助言を行いながら、地域と学校の関係づくりを更に進めていきます。

#### ➤ 「学校部活動の地域クラブ活動への移行」を視野に入れた部活動

高円寺学園において、全ての運動部活動の技術指導、大会引率、審判の実施等を民間事業者に委託し、スポーツクラブと称して活動を実施します。

また、令和7年度以降、複数校の生徒が1つの拠点に集い活動を実施する拠点校方式による合同部活動として本事業を実施展開できるように準備を進めます。

#### ➤ 部活動指導員、外部指導員の配置拡充 **拡充**

区の会計年度任用職員として、校長の管理下において、部活動の指導、大会引率など部活動の運営・管理等の職務に従事する部活動指導員の配置数（計画数）を8名から12名に拡充します。また、地域の人がボランティアとして、部活動の指導補助を行う外部指導員の配置回数を1校当たり360回から410回に拡充し、部活動の充実を図ります。